

第3回 助成担当者のための研修交流会 を開催しました。

助成プログラムを「つくる」編～現場ニーズを踏まえた助成プログラムの企画開発～

開催日時：2024年9月10日（火）13時30分～16時50分

開催場所：全国社会福祉協議会 第4、第5会議室

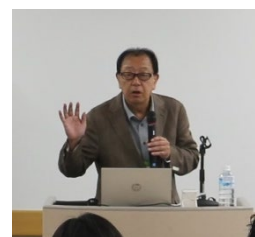
【開催概要】

このたび「第3回 助成担当者のための研修交流会」を開催しました。プログラムの内容は「第1部 話題提供」「第2部 多様な助成プログラムの実践事例から学ぶ」「第3部 グループ交流」と前回同様の3部構成ですが、第2回開催時にお声がけし集まっていた有志の企画委員（6名）と共に、企画検討を進めてまいりました。当日参加者は50名（会場37名、オンライン13名）でした。民間助成財団・市民ファンド、企業、NPO・中間支援組織等からのご参加があり、初参加いただく方も多くなか、グループ交流は5グループに分け盛り上がりしました。終了後のアンケートからは「助成プログラムを作ることをより深めていきたい」「こういう場が欲しかった！」等の声もありました。引き続き、助成担当者のための研修交流会を企画・開催していきたいと思っております。

【プログラムの内容】

■開会挨拶

当会理事でもある阿部 陽一郎氏（社会福祉法人 中央共同募金会 常務理事）に開会のご挨拶をいただきました。



阿部氏

■第1部 話題提供

話題提供では、米田佐知子さん（子どもの未来サポートオフィス 代表）より、「現場ニーズを踏まえた助成プログラムの企画開発について」お話いただきました。企画委員の一人として検討会に参加いただき、話題提供いただくことになりました。



米田氏

■第2部 多様な助成プログラムの実践事例から学ぶ

次の3名にご登壇いただきながら、各テーマでの実践事例を通し、助成プログラムを「つくる」ことについてのご報告をいただきました。

- ・ 迫園 秀樹氏（公益財団法人 東急財団 事務局長）
- ・ 菅波 完氏（認定特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金 事務局長）
- ・ 山田 絵美（特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド 事務局長/シニア・プログラムオフィサー）



菅波氏



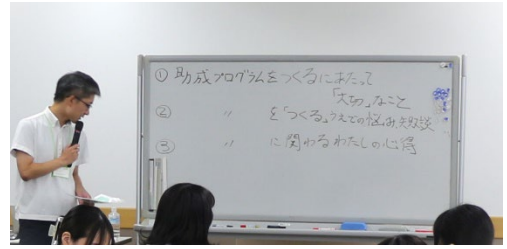
迫園氏



山田氏

■第3部 グループ交流

企画委員の皆様にはファシリテーターを担っていただきながら、共通テーマ（3つ）を軸にグループ交流をいたしました。5グループに分かれ、助成プログラムを「つくる」をテーマにしながら、発散的なアイデアや各自の考えなども話あえる機会となりました。



第3部 コーディネーター 武藤氏

グループ交流の最後にそれぞれのグループ内の話題・議論内容を共有し、会場全体で情報交換を行いました。



閉会は、当団体理事でもある中村陽一氏（立教大学名誉教授）にご挨拶を頂き、第3回研修交流会を締めくくりました。



中村氏

+++事務局より+++++

第3回より企画委員（有志）による企画・運営となりました。4月の初顔合わせの際、各人の関心領域も異なるメンバーで一体どんな企画なるかと少々緊張しておりました。5月より対面・オンライン合わせて3回の検討会を重ね準備を進め、助成プログラムを「つくる」という原点に立ち返る良い機会になればと焦点が絞られて行き、今回の企画となりました。次回も引き続き企画委員（有志）の皆様と共に、実りある研修交流の機会となるよう努めてまいります。

最後になりましたが、中央共同募金会の皆様のご協力なくして今回の開催は叶いませんでした。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

市民社会創造ファンド スタッフ一同（2024年9月末）

+++++

会員の募集

市民社会創造ファンドは会員募集しております。
市民活動助成を通してこれからの市民社会を創造していくためには皆様の応援が欠かせません。何卒よろしくお願いたします。

正会員：1口10000円、

賛助会員：1口5000円

※年会費は10月1日より翌年9月30日までの1年分です。

詳細はこちら (<https://civilfund.org/cooperation/>)



主催：特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

協力：社会福祉法人中央共同募金会、公益財団法人 東急財団

後援：認定特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・コモンズ、特定非営利活動法人 市民活動センター神戸、一般社団法人 社会デザイン・ビジネスラボ、公益財団法人 助成財団センター、公益財団法人 トヨタ財団、認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター、公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団他

企画委員：多賀俊二、美濃部真光、武藤良太、吉野裕之、米田佐知子、鷲澤なつみ（50音順）